

2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年8月9日

上場会社名 クラスタテクノロジー 株式会社
 コード番号 4240 URL <http://www.cluster-tech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安達 良紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 駒井 幸三
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6726-2711

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	183	2.3	7	10.3	8	8.3	8	71.3
2018年3月期第1四半期	179	31.4	8		9		28	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	1.42	
2018年3月期第1四半期	4.95	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	1,352	1,254	92.8	220.40
2018年3月期	1,370	1,246	91.0	218.98

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 1,254百万円 2018年3月期 1,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	366	101.1	0	7.4	1	12.4	1	3.4	0.19
通期	800	107.6	23	91.0	25	92.4	19	46.2	3.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	5,692,800 株	2018年3月期	5,692,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	68 株	2018年3月期	68 株
------------	------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	5,692,732 株	2018年3月期1Q	5,692,758 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、アメリカと中国との貿易摩擦や原材料価格上昇などにより不確実性を増しております。

我が国の製造業でも原材料価格の上昇に加え、製品需要の増勢鈍化が見え始めております。

このような状況下、当社は、前年に引き続いて事業方針「高精度・高機能に特化した樹脂製品の提供」及び「対処すべき課題」の具体的施策として、「当社の強みを活かした営業力の強化」、「顧客提案力の向上と開発効率の向上」、「経費の削減と人材育成」を推進しております。

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連分野では、映像機器分野については、依然底堅く推移しており、エレクトロニクス機器メーカー等に機能性素子部品を継続的に提供し高感度・超高速で進化するCMOSイメージセンサーを支える部品として、付加価値の高い分野でコストパフォーマンスに優れた製品を提供してまいります。また、当社の強みを活かした営業力の強化に取り組んだ結果として、OA機器分野や産業機器分野、レジャー分野での新規案件も順調に増加しております。

パルスインジェクター®(以下、PIJという)は、大学研究室および各企業の研究・開発部門からの問い合わせが展示会などを通じて増加し、装置等の売上にも寄与しております。引き続き、研究開発を支えるツールとして多分野への展開を推進いたします。

マクロ・テクノロジー関連分野につきましては、一般の高圧受配電盤や電力業界向け需要は横ばいではありますが、樹脂絶縁部品の受注が増加しております。

高耐熱性・高熱伝導体・低温硬化等の固形封止材「エポクラスター®クーリエ」をはじめとする固形封止材につきましては、引続き半導体デバイスメーカーや産業機器メーカー等へサンプル供給しながら事業を展開・推進しており、レジャー関連分野では、量産品にも採用されつつあります。

以上の結果、当第1四半期の売上高は183百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は7百万円(前年同期比10.3%減)、経常利益は8百万円(前年同期比8.3%減)、四半期純利益は、8百万円(前年同期比71.3%減)となりました。これは、前年同期の四半期純利益には、役員退職慰労引当金戻入額19百万円が特別利益として含まれ、それにより大幅に増加したためであります。

当第1四半期セグメントの業績は次のとおりであります。

①ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料及び機能性精密成形品並びにPIJ関連製品の当第1四半期累計期間の売上高は134百万円(前年同期比1.9%増)、セグメント利益は64百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

②マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料、樹脂成形碍子及び金型・部品の当第1四半期累計期間の売上高は46百万円(前年同期比7.5%増)、セグメント利益は9百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

③その他事業

その他の事業につきましては、医療薬品容器の異物検査事業などにより、当第1四半期累計期間の売上高は2百万円(前年同期比41.4%減)、セグメント利益は1百万円(前年同期比29.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、総資産は1,352百万円となり、2018年3月期末に比して18百万円減少しました。これは主に売上債権の減少(12百万円)によるものであります。

負債は、97百万円となり、2018年3月期末に比して26百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が9百万円及び賞与引当金が8百万円減少したことによるものであります。

純資産は、1,254百万円となり、2018年3月期末に比して8百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためであります。

また、自己資本比率は、2018年3月期末に比して1.8ポイント増加して92.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日の「2018年3月期決算短信[日本基準](非連結)」で公表しました第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	786,175	778,568
受取手形及び売掛金	131,057	118,648
商品及び製品	17,734	22,814
仕掛品	46,478	38,217
原材料及び貯蔵品	38,782	47,532
その他	2,103	1,998
流動資産合計	1,022,332	1,007,779
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	172,006	170,001
土地	160,500	160,500
その他(純額)	8,240	7,432
有形固定資産合計	340,746	337,934
無形固定資産	4,675	4,371
投資その他の資産	2,420	2,062
固定資産合計	347,841	344,367
資産合計	1,370,174	1,352,146
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,232	31,774
未払法人税等	12,542	2,571
賞与引当金	11,123	2,788
その他	52,053	50,707
流動負債合計	113,951	87,841
固定負債		
長期未払金	9,634	9,632
固定負債合計	9,634	9,632
負債合計	123,585	97,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	1,393,981	5,927
利益剰余金	△1,388,054	8,084
自己株式	△59	△59
株主資本合計	1,246,588	1,254,672
純資産合計	1,246,588	1,254,672
負債純資産合計	1,370,174	1,352,146

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	179,543	183,595
売上原価	102,789	109,067
売上総利益	76,754	74,528
販売費及び一般管理費	67,909	66,590
営業利益	8,845	7,938
営業外収益		
受取利息	309	312
売電収入	661	636
その他	—	102
営業外収益合計	970	1,052
営業外費用		
売電原価	319	283
営業外費用合計	319	283
経常利益	9,495	8,707
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	19,320	—
特別利益合計	19,320	—
税引前四半期純利益	28,815	8,707
法人税、住民税及び事業税	623	623
法人税等合計	623	623
四半期純利益	28,192	8,084

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年5月25日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議し、同日付で資本準備金のうち1,388,054千円をその他資本剰余金に振り替えた後、その他資本剰余金1,388,054千円を繰越利益剰余金の欠損填補に充当いたしました。

この結果、資本剰余金が1,388,054千円減少し、利益剰余金が1,388,054千円増加しております。